

GOVERNOR'S

Rotary
District2530

イマジン
ロータリー

MONTHLY LETTER 6

Rotary International District 2530 Vol.12

ガバナー月信 2023年 / 6月号

2023



喜多方市 恋人坂

CONTENTS ガバナー月信 2023年6月号

ガバナーメッセージ.....	2	2023 学年度新規米山奨学生・カウンセ	船引RC・船引中学校 IAC 合同例会開催報告...	13
RI3350 地区大会参加報告	3	ラーオリエンテーション開催報告.....	公共イメージ・IT委員会	14
二本松あだたらRC創立30周年記念式典開催報告.....	4	ともだち 100人プロジェクト開催報告...	マスコミトップインタビュー.....	15
会津分区 IM 開催報告	5	ローターアクト第47回地区年次大会開催報告...	新会員紹介・物故会員.....	16
2022-23年度第4回ガバナー会議参加報告.....	5	2023-24 年度地区研修・協議会開催報告...	4月会員数報告	17
第10回全国インターアクト研究会参加報告.....	6	月信オンライン化のご案内.....	職業奉仕委員会.....	18
県北第二分区次期幹事セミナー開催報告.....	6	小野RC創立40周年記念式典開催報告...	公共イメージQRコード.....	18

国際ロータリー第2530地区 2022-23年度 ガバナー 佐藤正道

ガバナー事務所 〒966-0092 福島県喜多方市字清水台2-92 (南)中野商店2F
TEL: 0241-23-6016 FAX: 0241-23-6026 E-mail: 22-23sato@ri2530.com

地区事務所 〒963-8831 福島県郡山市七ツ池町 26-3
TEL: 024-954-6755 FAX: 024-954-6615 E-mail: chikujimusyo@ri2530.com

ガバナーメッセージ



国際ロータリー第 2530 地区
2022-23 年度ガバナー

佐藤 正道
(喜多方RC)

今年度もいよいよ最終月をむかえました。各クラブでは、地区研修・協議会に参加し、次年度の事業計画が固まり、一抹の不安を抱きながらも意気揚々とスタートの時を待っているところだと思います。不確定要素を含んだ消極的な事業計画とならざるを得なかった、昨年までのコロナ禍とは明らかに様相が違っているように感じます。是非自らを解き放ち、大きく羽ばたいていただきたいと思います。

先月のゴールデンウィーク明けより新型コロナウイルス感染症が5類感染症へと分類変更されたこともあり、国内の観光地はインバウンド客も含めて大変賑わっています。昨年より始まったロシアのウクライナ侵攻に端を発した、サプライチェーンの分断による物価高騰や人材不足による供給不足も拍車をかけ、宿泊施設の料金が高騰しています。

昨年、郡山市内ホテルのバンケット料金の大幅な値上げにより、郡山を拠点とするクラブは、例会場の変更を余儀なくされ、適切な例会場を確保するまで、数か月もの間仮の施設での例会を開催しているクラブもありました。それを追うように同様の事態が福島市にもおきており、ホテルがバンケットを休止、結婚式場が閉館、料金の値上げと、ことごとく例会場候補が消えていく中で、未だ例会場の確保ができていないクラブもあるようです。長引いたコロナ禍により、会合の実施方法がオンラインを利用するなど、会合の形態が変化したことにより、感染対策が緩和されても以前のような利用状況に戻らず営業停止に追い込まれていくのでしょうか。

か。この現象は当地区内ばかりでなく、他地区でも同様で、同期ガバナーの間でも話題になっておりました。

はたして例会場に求めるのは何でしょうか。地区内には公共施設でデリバリーやケータリングを利用し、例会経費を抑えているクラブや、福島グローバルRCのように食事を会員自ら調理するクラブもあります。風格のある施設で高価でおいしい食事をするのが例会の必須十分条件なののでしょうか。今までのスタイルに固執するために、会費の値上げまたは例会の回数を減らすなどの対策を講ずることに事になるのでしょうか。この度の障害は、クラブを見つめ直す絶好の機会だと思います。

最後に、大変喜ばしいニュースです。かねてより進めてこられた新しいクラブ、当地区としては2番目の衛星クラブが、いわき平中央RCのスポンサーにより設立されました。名称は「いわき平中央SKYロータリー衛星クラブ」です。昨年公式訪問でいわき平中央RCへ訪問した際に、入会4年目で不安げな発言をされていた鈴木会長が、オープン例会で新たな会員を取り込み、その会員を核とした衛星クラブの設立、更にはインターアクトクラブも設立予定です。ロータリー歴は行動するための指標ではありません。もしかしたら反比例するのかもしれませんが。パンデミックが明けた新たな変革期に、クラブのあるべき姿を衛星クラブの実例も参考にしながら、話し合ってみませんか。

RI3350地区大会参加報告 3月16日～20日



国際奉仕委員会
委員 杉島 洪徳
(二本松RC)

友好締結を濟ませた RI3350 地区大会（タイ・ミャンマー・カンボジア・ラオス・ベトナム）への参加と情報共有

今年度、佐藤正道ガバナーの分野別目標に国際奉仕支援地域の情報収集及び提供で3月16日～3月20日までタイ中部のバンコクから南東へ約160kmに位置するリゾート地パタヤのコンベンションセンターにて、3月18日リーダーシップセミナー、パストガバナーミーティング、感謝ナイト、3月19日は朝のレジストレーションから参加させて頂き、セッションIのRI2530地区佐藤正道ガバナーより国際奉仕支援についての発表など、それぞれのセクションで内容の濃いテーマ別講演会を拝聴させて頂きました。午後はパタヤゴルフクラブでRI3350ガバナー主催の「子供たちにクレヨンを贈るチャリティーゴルフコンペ」に参加し、多くのクレヨンを寄付出来たと（笑）自負しております。RI3350地区会員の会員構成は、男女比率は男性会員が少なく、働く女性会員比率が高い、また、ジェンダー会員もクラブに溶け込み、それぞれの立場で

クラブを盛り上げていることに感銘を覚えました。

大会には、それぞれの国の多くのRACとロータリアンが集い、文化、歴史、習慣も違う人々が、心ひとつにガバナーのもと大会を盛り上げる行動力は私たちが、「心の奥深く仕舞い込んだ忘れ物」に気づかされると思います。ガバナー自ら大会の司会進行を務めリーダーシップを発揮する。各セクションでは委員長が司会進行を務め各委員の思いを吸いあげる。そこには、何一つ曇りのない純潔な思いがテーマにそって繰り広げられ、感情剥き出しでディスカッションする情熱に、心を打たれました。また、会場の雰囲気は「SAKURA」をテーマに日本文化をいたるところに取り入れた地区大会で、現地語の会話が無ければ、まるで、「ここは日本か」、と勘違いしそうなほどです。今年度の国際奉仕委員会の活動目標の一つにRI3350地区との情報共有がありますが、第一歩であります。互いのコミュニケーションがとれるステップまで押し上げましたので、次期右近八郎ガバナー、次期社会国際委員会の白岩薫委員長の次の采配に期待しております。



二本松あだたらRC創立30周年記念式典開催報告 4月15日



二本松あだたらロータリークラブ
会長 藤井利則

2023年4月15日（土）、15時より二本松あだたらロータリークラブ創立30周年記念式典を二本松市市民交流センターにて、記念祝賀会をアーバンホテル二本松において開催いたしました。

記念式典・祝賀会には、佐藤正道ガバナーをはじめ、ご来賓の方々にご臨席賜り、約80名の皆様にご参加いただきました。

記念事業として、安達ヶ原ふるさと村にベンチ2基を寄贈し、目録を秋山和久30周年記念事業実行委員長より三保恵一市長に手渡しました。併せてロータリー財団とロータリー米山記念奨学会への特別寄付、インドネシアの子供たちへの奨学金の寄付継続も発表しました。

また、スポンサークラブである二本松ロータリークラブへ感謝を表し、鈴木一弘会長へ記念品を贈呈させていただき、二本松ロータリークラブからもロータリー旗など記念品をいただきました。

さらに、歴代会長への敬意と感謝を表し、感謝状を14名に贈り、新会員入会式も行い佐藤ガバナーより坂路会員へバッチを交付していただきました。

祝賀会では阿久津肇パストガバナーからお祝いの言葉をいただき、大橋廣治パストガバナーのご発声で乾杯し盛大に行われました。アトラクションでは超能力マジシャンタジマジックショー、レイマカニフラオハナハワイアンショーで交流を深めました。

この度めでたく30周年を迎えることができましたこと、これも関係各位および当クラブ諸先輩方の熱心な奉仕活動のおかげであり、心より敬意と感謝を申し上げます。これまでの学び

を生きし、さらに40、50年とクラブを成長させていけるよう精進していきたいと思います。

これからも二本松あだたらロータリークラブを宜しくお願い申し上げます。



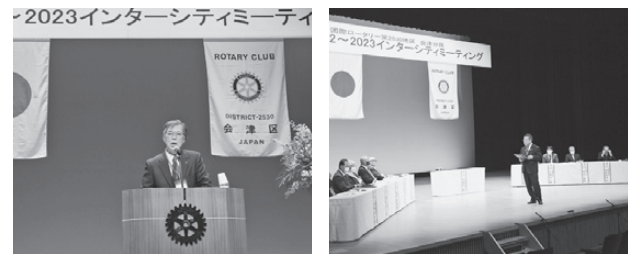
会津分区IM開催報告 4月16日



会津分区ガバナー補佐
猪股 純一
(田島RC)

会津分区インターシティ・ミーティングを4月16日(日)田島ロータリークラブがホストとなり、南会津町お蔵入交流館にて115名の参加を得て開催されました。当日は、コロナ禍もありここ数年行われなかった新人研修勉強会を分区内より入会5年未満の会員15名ほどに参加していただき午前10時より開催されました。講師には地区RLI委員長の佐藤榮朗氏(会津若松西RC)とRLI委員の細井信浩氏(田島RC)の両氏をお願いして私も参加させていただきましたが和やかな中であつても実りのある勉強会になりました。さて、午後1時より、第1部は職業奉仕とクラブ活性化と題して福西宜孝氏(会津若松中央RC)に講演をいただきました、私達日本のロータリアンが求めている職業奉仕論と現RIが提唱している職業奉仕のあり方の違いを明確に指摘していただき大変勉強になりました。第2部は、地区職業奉仕委員会委員長の齋藤純一氏にDLにな

っていただき、分区内各クラブの職業奉仕委員長の方に登壇していただき、RLI方式により職業奉仕に関するいくつかのテーマについて討論していただき会場内の会員の皆様方に聞いていただきました。閉会後のアトラクションは、南会津町田島祇園祭屋台歌舞伎保存会によります「仮名手本忠臣蔵三段目足利館殿中松の間の場」の上演でした。当日は、牧公介パストガバナーのお別れ会(ご冥福お祈り申し上げます)と重なったため佐藤正道ガバナー、中澤剛パストガバナーはじめ分区内数名の会員の出席を見ることができなかったことは残念でした。懇親会は、田島RC会員の丸山館のホールにて、佐藤ガバナー、佐藤幹事の両名にも参加をいただき大変な盛り上がりを見せ和やかなうちにお開きになりました。



2022-23年度 第4回ガバナー会議参加報告 4月21日



国際ロータリー第2530地区
2022-23年度ガバナー

佐藤 正道
(喜多方RC)

さる4月21日、東京プリンスホテルにてクラブ活性化セミナー終了後に引き続き第4回ガバナー会が開催されました。通常ガバナー会は年3回ですが、前回の会議において、今後の日本のロータリー組織について考えるうえで、単年度では判断しにくいことから、ガバナーエレクト、ガバナーノミニエと合同の会合をもち、多年度にわたる情報の共有と議論を交わす必要性が求められたため、今回は異例の4回目で、「ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニエ情報交流会」となりました。

顧問(佐藤RI理事)のあいさつの後、トルコ大地震支援金の送金について報告があり、その後今回の会議の趣旨説明が嶋村議長からなされました。そして議事に入り議題は①ガバナー

会について(嶋村議長)、②日本のロータリー未来形成チーム会議について(辰野直前RI理事)の2点の議題でした。どちらもすでにガバナー会において説明がなされていたので、ガバナーエレクト、ガバナーノミニエ向けの説明となりました。次にグループに分かれ、「クラブ活性化セミナーに参加して学んだこと」のテーマにてテーブルディスカッションとなりました。グループ討論や発表時には、ガバナーエレクト、ノミニエからは、ガバナー就任前にガバナー会の内容を知ることができ、非常に有意義だったとの話も出ました。今までは、2.5ゾーンに分かれている日本全体に関わる提案をRI理事からガバナー会へ上程しても、議論する機会がなく、また重要な案件であるほど結論が出せずに先送りになっていたようでした。最後に水野RI理事ノミニエが、この取り組みを今後も続けてほしいと講評を述べられ閉会となりました。次年度以降の進展に期待をし、報告といたします。

第10回全国インターアクト研究会参加報告 4月22日



青少年奉仕委員会
委員長 大木 和彦
(須賀川RC)

第10回全国インターアクト研究会が、国際ロータリー第2670地区（四国）香川県高松市で開催されました。テーマは、四国のお接待と言われるもてなしの心を込めた「四国版お接待の発信～人を思いやる気持ち～」であります。全国から18地区、インターアクター、顧問、ロータリアンが参加しました。

一堂に会しての研究会は四年ぶり、全国のインターアクトに携わるロータリアンと親睦を深め、情報を交換する研究会はとても有意義で「心地よさと配慮」を感じました。

オープニングとして徳島県立徳島商業高等学校の阿波踊りを披露されていました。踊り手とお囃子でとても壮観でした。プログラムは、開会式・基調講演「四国遍路「歴史」「現代」「文化」と題しNPO法人遍路とおもてなしのネットワーク理事長松田清宏様・インターアクター交流会「君も、四国博士になろう（インターアクターによる四国のクイズ大会）」・元RI理事 全国インターアクト研究会委員長三木明氏による講演・閉会・懇親会となっております。地区インターアクト代表内山友香さん挨拶から、

「2020年春ごろから、新型コロナウイルスの流行により、多くの活動に制限が設けられる中で、私たちの高校生活が始まりました。時間短縮の中で行われた入学式、マスクを着用しての自己紹介、学級閉鎖、オンライン授業、思うような学校生活を送れないもどかしい日々が続きました。しかし、インターアクトクラブの活動として……多くの活動に取り組むことが出来ました。」と述べられておりました。

コロナ禍で、提唱クラブとインターアクトクラブとの開いてしまった距離感を埋めてゆく必要性を感じ、ロータリアンとして、青少年奉仕の「育てる奉仕。共にする奉仕」にさらにチャレンジしたいと思った次第です。主管されました国際ロータリー第2670地区実行委員会の皆様に感謝を申し上げ、参加報告といたします。



県北第二分区次期幹事セミナー開催報告 4月27日



福島北ロータリークラブ
幹事 立花 志明

2023年4月27日（木）、クーラクーリアンテサンパレスにおいて、県北第二分区次期幹事セミナーを開催いたしました。講師にRI2530地区芳賀裕パストガバナーお迎えし、県北第二分区網代智明ガバナー補佐主催により、県北第二分区7つのRCの次期幹事・現幹事、および、ホストクラブである福島北RCの会長・副幹事2名の合計19名での開催です。

第1部「幹事に求められるロータリー知識」と題した講義では、「幹事はクラブ会長とイコールパートナーであり黒子ではない」として、

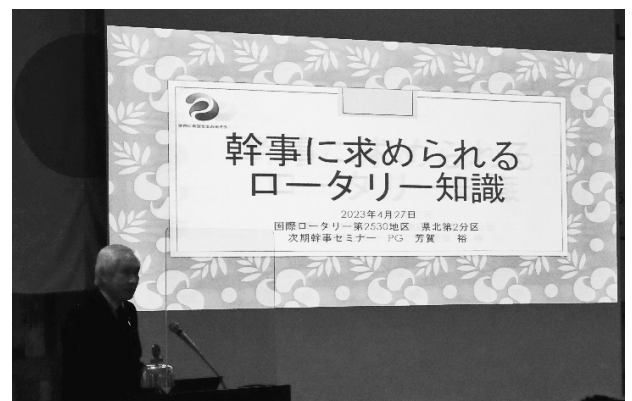
- ・幹事の役割、心がけ
- ・幹事への就任準備、必要な知識

をベースに、機能しているクラブの定義を説明しながら、クラブ・リーダーシップ・プランの策定を担

っていく重要性を1時間強学ばせていただきました。

第2部では、2グループに分かれて、講義を聞いた感想も含めて次期幹事の抱える疑問や不安に、現幹事がアドバイスするなどのテーブルディスカッションを行ない、代表の2名が発表。

第3部「懇話会」では、4テーブルに分かれて飲食しながら情報交換を行ない、より良いロータリー活動に向けた知恵と鋭気を養う有意義な時間を過ごせました。皆様のご協力に感謝いたします。



2023学年度 新規米山奨学生・カウンセラーオリエンテーション開催報告 4月23日



次期米山記念奨学会委員会
委員長 吉田 喜一
(郡山北RC)

4月23日(日)郡山市のビッグアイ7階の市民交流プラザ第一・第二会議室において2023学年度新規米山奨学生・カウンセラーオリエンテーションが開催されました。このオリエンテーションは奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーに関する理解をしてもらう場です。

午前中の第一部のカウンセラー説明会では新しく世話クラブのカウンセラーとなったロータリアンを前に、佐藤正道ガバナーから新規奨学生を迎えるにあたってのカウンセラーの役割の重要性や奨学生が楽しい学生生活を送るためのサポートについてお話があった後、引き続いて武島昭良委員長からロータリーと米山記念事業についてと米山カウンセラーへのお願いなどの説明がありました。

昼食をはさんで午後からの第二部の新規米山奨学生・カウンセラーオリエンテーションでは2023年度の25名の奨学生(新規19名・継続6名)はそれぞれのカウンセラーと一つのテーブルに仲良く並んで座り、日本語をしっかり習得し有意義な学生生活を過ごすことを心より願うといった佐藤正道ガバナーの挨拶や右近ガバナーエレクトの歓迎の言葉、そして武島委員長の米山梅吉翁と米山奨学事業に関しての話に聞き入っていました。

続いて小林学友委員長より奨学生が守るべきこと・確約書の署名について紙芝居を利用した説明がありましたが、小林委員長らしい工夫凝らした演出に会場も大いに和んだ様子でした。

そして奨学生は署名した確約書と引き換えに佐藤正道ガバナーより桜の花びらをかたどった奨学生バッジを満面の笑みで受け取り奨学生としての第一歩を踏み出すことになりました。奨学生諸君にはこのバッジに誇りを持ち、バッジを汚さぬ充実した学生生活を送って欲しいと思います。

その後に行なわれた一人三分間のスピーチではそれぞれの個性が現れ、会場が笑いの渦に包まれる場面もありました。2023学年度奨学生は全体に日本語が上手で、ユーモアたっぷりの話術にガバナーはじめ米山の委員・カウンセラーも驚きを隠せぬ様子でした。このスピーチから物怖じしない現代の若者らしさの他、外国人の学生気質も変わりつつある事を感じ取ることが出来たような気がしております。

今年度の年間スケジュールの説明では、8月5日・

6日米山学友による世界大会「再開 in 関東」に地区米山委員会の正式な事業として参加する事、更にコロナ禍で過去二年間実施されなかった三島市の米山梅吉記念館への研修旅行が9月に復活する旨の報告がありました。

10月の米山月間では多くの奨学生に卓話の依頼が舞い込むので、それまでにより一層スマートな日本語の会話ができる様に、その準備をして欲しいとの話がありました。

また、ロータリーの年間行事の中で最大のイベントである地区大会が11月12日福島市のパルセ飯坂で開催されるので必ず出席するようアナウンスがあり、長時間に及んだオリエンテーションも午後4時に閉会となりました。

米山奨学事業は日本のロータリーが誇るべき国際奉仕活動で、日本と世界を結ぶ人づくりを目指したものです。国際親善とか世界平和理解と云った壮大な物言いとなりますが、まずは個人と個人との交流こそが、その入り口です。この意味からも、この事業の要は正にカウンセラーの双肩にかかっていると云っても過言ではありません。米山事業に関わる者としては奨学生が世話クラブ・カウンセラーとの交流を通してロータリーをよく理解し、夢の実現に向かって自分らしさを磨き世の中に必要とされる人材へ育ててくれることを願うばかりです。



ともだち100人プロジェクト開催報告 5月5日



郡山西ローターアクトクラブ
幹事 久家 真広

当地区のローターアクターはコロナ禍での活動制限などにより年々減少傾向にあります。

仲間を増やしていくためには、活動をしっかり行って、私たちの活動に共感していただく必要があると考えます。ローターアクトを少しでも多くの方に知っていただき、1人でも多くの仲間を増やしていきたいという想いのもと、今年度の地区ターゲットを『輪』としました。

ローターアクトの輪が今よりも大きくなればと考えています。その地区ターゲットを達成するために今年度実施してきたのが「ともだち100人プロジェクト」です。

まずは、11月5日に喜多方で開催した、秋の大運動会～観光レースで楽しもう～です。参加者には着ぐるみを着ていただき、喜多方の名産品である喜多方ラーメンやたまりせんべいなどをテーマにしたアトラクションをそれぞれクリアしながら順位を競うレースを行いました。

喜多方 RAC が中心となってアトラクションに使う大道具の作成準備や当日の運営を行い、子どもの部と大人の部合わせて総勢 30 名近い方にご参加いただきました。当日は風が強く、設置したテントやアトラクションが飛ばされてしまうハプニングがありましたが、参加者はそれぞれのアトラクションを楽しみながら競争していました。参加者のほとんどがロータリー関係者で、一般参加者が少なかったのですが、大変盛り上がりました。本来の目的であるローターアクトのことを周知するという目的の達成とはいかなかったかもしれませんが、次年度以降も継続して開催し、毎年の恒例行事となり、多くの方々にローターアクトを知っていただくイベントとなればと思っております。

次に、毎年5月5日の『こどもの日』に郡山市で開催されている『郡山市こども祭り』。今年は4年ぶりの通常開催に加え開成山公園から郡山カルチャーパークに会場を移し約

42,000 人の来場者が訪れました。こどもたちに様々な遊びや体験を提供する為に多くの団体が創意工夫を凝らしたブースを出店しました。その中で私たちは、『わくわくバルーンアート』と称しこどもたちへバルーンアートの実演製作と無償提供を行いました。元々バルーンアートの経験があった郡山西 RAC に加え、郡山市出身の大道芸人タッシーさんに助人を要請し、初心者アクターも1種類のバルーンアートをそれぞれ覚え挑みました。結果は大大大盛況！！ブース前には終始長蛇の列にこどもたちが並んでくれました。

こどもたちのキラキラした眼差しに序盤はアクター全員緊張で真顔でバルーン作成。途中で風船が割れた時の子どもたちの何とも言えない表情が忘れられません。中盤からは徐々に緊張がほぐれ、子どもたちとコミュニケーションもとれる様になり、アクターにも笑顔が戻りました。アクター1人あたり約100個。全体で約1500個のバルーンアートを子どもたちに渡し、その度に最高の笑顔で『ありがとう』をくれる子どもたちに、ただただ達成感を感じるローターアクトでした。



ローターアクト 第47回地区年次大会開催報告 5月6日



ローターアクト委員会共同委員長
ローターアクト地区代表

佐藤 正治
(喜多方RC)

5月6日に、大和川酒造 北方風土館にて、国際ロータリー第2530地区ローターアクト第47回地区年次大会を開催しました。地区年次大会は実に4年ぶりの開催となりました。

今回の地区年次大会の大会テーマを「結～繋ぐ奉仕の輪～」とし、ローターアクトの奉仕の輪を再認識するとともに、ロータリーファミリーの絆を再確認できたという想いで開催させていただき、また、今年度の地区ターゲットである「輪」を体現する集大成の場となればと考えておりました。

当日は喜多方市長 遠藤忠一様、国際ロータリー第2530地区ガバナー 佐藤正道様、同パストガバナー 芳賀裕様、同ガバナーノミニー 早川敬介様にお越しいただき、また、地区内ロータリアンの皆様、提唱ロータリークラブの皆様、他地区のローターアクターの方々など、総勢40名近い方にご出席いただきました。

式典内では、地区や各クラブからの今年度の事業報告をさせていただきましたが、今年度は地区単位での活動（ともだち100人プロジェクトや3.11合同例会）を多く開催したことから、報告の内容が似通ってしまいましたが、地区としての団結力が増した年度であったのではと思います。その中でも特色ある活動を行っていたクラブもあり、地区内外へ共有できたことは良かったことではないかと感じます。

基調講演では、公益財団法人あすのば代表理事の小河光治様を講師にお迎えし、「こどもまんなか」社会に向けて「この子らを世の光に」をテーマにご講演いただきました。設立以降の活動のご紹介や政策提言、支援の取り組み、子どもたちを取り巻く状況などをご自身の経験をもとにお話いただきました。特に「こどもまんなか社会」や「子どもたちは支援対象というのではなく、自ら光り輝く存在である子どもたちを支えていく」といった言葉が印象的でした。

今後、ローターアクターが子どもたちを中心とした事業や活動を行うにあたってのヒントとなったと思います。

基調講演のあとは、会場を山形屋へうつし、懇親会を開催しました。講師の小河様やロータリアン、ローターアクターが1つの会場で杯を交わす様子はまさにロータリーファミリーの「輪」の繋がりではないかと感じました。

今回の開催にあたって、久しぶりの開催ということもあり、過去資料を調べて準備し始めたのですが、この4年の間でローターアクターの立ち位置が大きく変わったこともあり、様々な点をブラッシュアップしなければなりません。準備段階から、様々な至らぬ点があったかと思いますが、今回の開催を次年度以降の糧にしていければと思いました。

今年度も残り1か月となりましたが、振り返りをしっかり行い、次年度以降もロータリーファミリーの「輪」を強固にし、活動に邁進していけるよう歩み続けていきたいと思っております。最後になりますが、準備のお手伝いをいただいた方、当日ご参加いただいた方、設営についてアドバイスいただいた方、誠にありがとうございました。



2023-24年度 地区研修・協議会開催報告 5月13日



地区研修・協議会実行委員会
 実行委員長 古 俣 猛
 (福島RC)

地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナーに続く三大セミナーの最後を飾る「地区研修・協議会」が、5月13日(土)福島市のパルセいいざかに於いて開催されました。

5月8日に新型コロナウイルス感染症が、感染法上の5類に引き下げられ“平時”“ノーマスク”でのリアル開催となり、地区役員、各クラブの次期リーダーの皆様が集まり、国際協議会—地区研修・協議会—クラブ協議会の流れの中で、ゴードンR・マッキナリー会長エレクトのテーマ、そして右近ガバナーエレクトの地区目標がいかにか効果的に達成できるかが討議され、次年度方針を勉強し、そして知識・情報交換がなされました。

まず「地区研修・協議会」に先立ち、「会長会」が同所で開催されました。

佐藤ガバナー、右近ガバナーエレクトの挨拶に続き、佐藤ガバナーを議長に議事に入り、①2022-23年度地区大会決算 ②2023-24年度地区賦課金(案) ③2023-24年度地区予算(案)が上程され、中野地区資金委員長、森岡次期地区資金委員長より議案説明があり、全て承認されました。

その後、①2022-23年度地区中間決算報告 ②2023-24年度行事予定について報告説明がなされました。

「地区研修・協議会」では、開会セレモニーにおいて、佐藤ガバナー、右近ガバナーエレクト、石黒地区研修リーダー、芳賀次期地区研修リーダーからのご挨拶、ホストクラブである福島RCから古俣実行委員長、相良会長のご挨拶がありました。



昼食後、600名を超える参加者が9つの分科会に分かれ、正副リーダー、講師の方々の適切なご指導のもと、セッション1、セッション2、それぞれ1時間ずつ2時間の研修・協議が実施されました。

分科会は、下記の通りです。なお、各分科会の内容につきましては、後日、記録報告書を作成し、各クラブにお届け致します。

- ①会長部会・地区危機管理委員会・地区運営管理委員会・戦略計画委員会
 - ②幹事部会・RLI委員会・地区研修委員会・地区規定委員会
 - ③会員増強委員会
 - ④公共イメージ委員会
 - ⑤社会・国際奉仕委員会
 - ⑥職業奉仕委員会
 - ⑦青少年奉仕委員会・ローターアクト委員会・学友委員会
 - ⑧ロータリー財団委員会
 - ⑨米山記念奨学会委員会
- } ※第2セッション合同



分科会終了後、閉会セレモニーが開かれ、右近ガバナーエレクトの御礼の挨拶に続き、地区

大会（11月11日・12日於福島市）のご案内をホストクラブである福島RCの渡辺地区大会実行委員長が、また次期研修・協議会のホストクラブである郡山北RCの國府田会長が、ご挨拶された。

久しぶりのリアル開催となった今回ですが、会場設営につきましては、皆様の会場移動のご負担を考慮し、敢えてパルセいいざかの一ヶ所ですべてのセッションを行いました。分科会会場の大小、音響の問題、駐車場等、ご不便ご迷惑をおかけしましたことお詫びし、ご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

クラブ委員会委員長を始めとするクラブリーダーの皆様には今回の研修をもとに効果的なクラブ運営、そして各クラブの次年度目標の達成に役立てていただきたいと思います。新年度の各クラブのますますのご発展をお祈りいたします。



月信オンライン化のご案内

次年度（2023-24年度）の月信につきましては、SDGs（持続可能な開発目標）への取り組みの一環として、印刷、配布を廃し、地区ホームページ上での公開に変更することが地区の協議を経て決定致しておりますので、ロータリアン各位におかれましては7月号よりWeb上で閲覧頂きますようご案内申し上げます。

令和5年6月1日

2023-24年度 地区月信委員会

小野RC創立40周年記念式典開催報告 5月14日



小野ロータリークラブ
会長 舞木 富雄

2023年5月14日(日) 13:00

創立40周年記念演奏会・記念式典・記念講演会・記念祝賀会を小野町多目的研修センターにおいて開催いたしました。

開催に先立ち会員で記念撮影を行い、全員でおもてなしの準備をし記念演奏会の主役である、小野小学校全校生のみなさん約400名、御来賓、県中分区の皆様、御父兄の皆様で800席を用意した席が満席になり追加の席を用意しました。

40周年記念事業のメインテーマとして、地域の子供たちにオーケストラの生演奏を体感してもらい、音楽の素晴らしさや貴重な感動を通して、青少年健全育成の向上を図りたいとの思いで開催しました。いわき交響楽団のみなさまには、無理難題にも快くご協力を賜り、レベルの高いオーケストラ演奏会を開催できました。

子供たちも大変喜んでいろいろな楽器の説明を受けたり、指揮者になったり、子供たちを飽きさせないプログラムのもと演奏会を楽しむことができました。

小学校の校長先生を例会ゲストに迎えてスピーチを頂き、クラブとして何ができるか、検討してきた甲斐があり当日の反省会には校長先生の顔もありました。

40周年のテーマ「子育て」そして「経済」のもと記念講演を、とうほう地域総合研究所理事長矢吹光一様「福島復興の軌跡：これまでとこれから」と題して講演をいただきました。矢吹様が田村市出身とのことで、地元密着の話聞くことができました。

記念式典では小野町に記念品が贈呈された。

記念祝賀会ではパストガバナーの佐久間英一様の乾杯の下大変盛り上がる事が出来ました。

小野クラブは現在17名の会員ですが、無事40周年記念式典を開催できたことロータリークラブの皆様のおかげと感謝申し上げます。



船引IRC・船引中学校IAC合同例会開催報告 5月22日

船引ロータリークラブ

青少年奉仕委員会委員長 関 根 英 也

令和5年5月22日（月）午後4時00分から船引ロータリークラブと船引中学校インターアクトクラブとの合同例会を船引中学校で開催しました。

今回の例会は、中学校の花壇整備及び花植えを実施しました。参加者は、船引ロータリークラブ会員16名、船引中学校インターアクトクラブ生徒12名の合計28名で行いました。花壇整備前に合同例会を開催し、開会点鐘、船引ロータリークラブ会長挨拶、船引中学校インターアクトクラブ会長挨拶、船引中学校校長先生から挨拶を頂き、花壇整備に臨みました。

サルビア・ベコニア・ネモフィラ等5種類、約200本を体育館前の花壇に植えました。現在の活動状況や学校の行事等を生徒と話したり、花の植え方や間隔などをロータリークラブ会員が教えたりなど、インターアクトクラブの生徒たちと楽しく交流を図り、花植えを行うことができました。

今回の合同例会は、令和4年10月22日（土）船引中学校の文化祭時に、体育館にて全校生徒と保護者の方々の前で、インターアクトクラブ卒業式を行って以来の2回目の事業でした。

コロナの制限があり、今年度もなかなか合同での事業ができませんでしたが、次年度からも、地域に根差した積極的な活動計画を立て、2年後の船引ロータリークラブ創立50周年に向けてより一層、船引中学校インターアクトクラブと交流を図って行きたいと思っております。

今回の事業開催にあたり船引中学校校長先生をはじめ、インターアクトクラブ顧問の先生、学校関係者の方々にご協力頂きました事に心より感謝し、御礼申し上げます。



公共イメージ・IT委員会



公共イメージ委員会

委員長 渡 邊 万里子
(郡山アーバンRC)

委員会テーマの Tobeimaginedbypublic (公共の人々から想像されるロータリー) をもとに、ロータリーを知らない、どのような団体なのかわからないという方々に、せっかく素晴らしい活動をしているのだから、まずはロータリーを知ってもらおう！との趣旨で、外向けのコンテンツをオープンしました。

世間に惜しみなくロータリー活動を知っていただく事によって、ロータリーを想像してもらい、良いイメージを持ってもらう、ひいては会員基盤の向上、奉仕活動の増大、公共イメージの向上に繋がっていくことに期待しています。

ちなみに今年度の 2530 地区の SNS アカウント (Facebook ページ、Instagram) のそれぞれのリーチ数は、約 9 ヶ月間で、FB が 15,737、インスタが 16,285 でした。

インターネット社会という事もあってか、多くの方にアクセスをいただけたかと思えます。

リーチ

この期間と前の期間のリーチを比較します。

Facebookページのリーチ ⓘ	Instagramのリーチ ⓘ
15,737 ↑ 58.3%	16,285 ↑ 1.3万%

※リーチ数：投稿を最低1回見たアカウント数

その中でも、一番リーチ数を多く集めた投稿は、2022年9月25日に福島市で行われた、「スポ GOMI」の様子を動画にまとめた投稿でした。

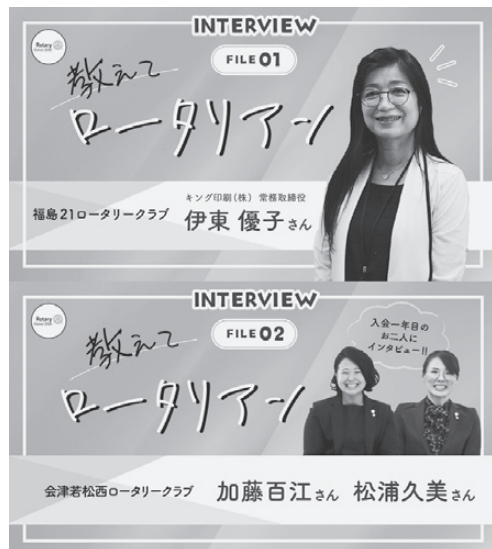
次いで、「教えてロータリアン」のインタビュー動画です。

国際ロータリーは、DEI タスクフォースからの意見を基に、多様性、公平さ、インクルージョンに対する取り組みを強化いたしました。そこで 2530 地区でもその一環として、第1～2回は、ロータリーに所属する女性会員のインタビューを SNS にアップしました。今後は女性のみならず、様々な方々をご紹介していく予定です。また、この様なことを踏まえても、もちろん投稿する内容ありきですが、動画、写真、テキスト文章の順にアクセス数上がる傾向があるという事がわかりました。世の中で

TikTok などが若者に流行っている事も考えると、端的で分かりやすい動画がデジタル社会では伝わりやすいのでしょうか。

なお「スポ GOMI」、「教えてロータリアン」の動画は国際ロータリー第 2530 地区の SNS アカウントからみる事が出来ますので、ぜひアクセスし、フォロー、シェア、いいね！をよろしくお願いします。

2023-24 年度も皆様のご協力をどうぞよろしくお祈りいたします。



ニーズに合わせたコンテンツづくりで 人が集まるお手伝いを

TUF
テレビユー福島

株式会社テレビユー福島

特別顧問
(前代表取締役社長) **新田 良一 氏**

所属：福島ロータリークラブ

プロフィール

1957年生まれ。慶応大学商学部卒業後、80年東京放送入社。テレビ営業局営業推進部長、営業局ネット営業部長、TBS営業局長、取締役メディアビジネス局長、常務取締役などを歴任し、2015年東京放送ホールディングス執行役員、18年株式会社テレビユー福島代表取締役社長を経て、2022年特別顧問に就任。



ロータリークラブと放送業界には
共通する理念がある

福島ロータリークラブ（以下・RC）に入会したのが福島に赴任した2018年。それまで転勤を経験していなかったため、地方のRCに入会する機会もありませんでした。

入会した印象は、なんとなく放送業界に似ているということ。放送局は国民の財産である免許を預かって放送していますが、義務とか社会的責任とかあるわけです。例えば視聴者である県民や全国の人たちの命や財産を守りなさい、災害時は住民を守る情報を報道しなければならぬ、さらに言えば権力や政治家の不正をきちんとチェックしなさい、民主主義を維持するために活動をしなさいとか。報道部も営業部も関係なく全員がそういう気持ちを持つように教えられるわけです。

そういったところがすごく似ているというか、誰かのために助ける、援助するという考え方は、放送局もRCもとても近い考え方だったので、ああ、なるほどこういう組織かと、すっと馴染むことができました。

それから会員の皆さんも職種や役職もさまざま、知人やつなが

りのなかった私にとっては、とても有意義でいろんなことを学べる会でもありますね。

地元の魅力の再発見と

双方向コミュニケーションがカギ

ここ20年くらいの間で一気に普及したインターネットですが、これは放送業界にとって大きなうねりでした。

放送局の1番の強みは「リーチメディア」ですが、それは一方的なもの。しかしインターネットはターゲットを絞った情報発信や双方向のコミュニケーションが取れるメディアです。これまでは大々的に広告を流すことが価値のあることだとされてきましたが、いまの広告主はリレーション重視で、視聴者やターゲット層とどうコミュニケーションが取れているかとか、自分たちがどうコミュニケーションを取るべきかを考えています。

弊社では2年前から県内59市町村のコアな情報をお届けする「ふくしまSHOW」や、若い世代をターゲットとした夕方の情報番組「ちゃんろく」をスタートさせました。特に「ちゃんろく」はSNSでお店の情報を発信したり双方向コミュニケーションが取れる仕組みにしてあります。

現代の若者はテレビではなく、スマートフォンを使ってインターネットやSNSで情報を集めています。このスマートフォンを使いこなすZ世代に響くコンテンツづくりというのが、荒波を乗り越えるポイントになるのではないかと考えています。

多種多様な産業がもたらす

新しい魅力の発信が不可欠

福島は自然の豊かさや農・水産物もおいしいものがたくさんあって、浜通りには最新のテクノロジーが集まるロボットテストフィールドもあります。農業もあり最新技術が集まる場所がある自治体はなかなかあるものではないと思います。個人的な見解ですが福島はフランスに近いのではないかと思っています。フランスは国土の半分が農用地で小麦や野菜、果物の生産、酪農も盛んです。かといえ、国の南にあるトゥールーズはヨーロッパの航空宇宙産業の中心地。ヨーロッパ最大の宇宙センターなどもあります。

浜・中・会津、それぞれの魅力に磨きをかけていけば、フランスのように多種多様な産業のメッカとして魅力を発信することができるとは思いません。

新会員紹介

●中央分區 郡山 RC
武田 賢一 たけだ けんいち
 ●入会日 2023年4月6日
 ●職業分類 陶器配布
 ●勤務先 (株)武田商店

●中央分區 郡山 RC
前田 祐希 まえだ ゆうき
 ●入会日 2023年4月27日
 ●職業分類 金融サービス業
 ●勤務先 オリックス(株)郡山支店

●中央分區 郡山 RC
目黒 寛己 めぐろ ひろみ
 ●入会日 2023年4月27日
 ●職業分類 地方銀行
 ●勤務先 (株)東邦銀行郡山営業部

●中央分區 郡山 RC
安藤 昇 あんどう のぼる
 ●入会日 2023年4月27日
 ●職業分類 水製造
 ●勤務先 郡山冷蔵製氷(株)

●中央分區 郡山西 RC
丹生修一郎 にぶ しゅういちろう
 ●入会日 2023年4月12日
 ●職業分類 損害保険
 ●勤務先 三井住友海上エイジェンシーサービス(株)

●中央分區 郡山西 RC
樽川 啓 たるかわ ひろむ
 ●入会日 2023年4月19日
 ●職業分類 電気卸売
 ●勤務先 (株)ニノテック

●中央分區 郡山東 RC
遠藤 幸夫 えんどう ゆきお
 ●入会日 2023年4月24日
 ●職業分類 サービス業
 ●勤務先 遠藤事務所合同会社

●中央分區 郡山東 RC
布施木和彦 ふせぎ かずひこ
 ●入会日 2023年4月25日
 ●職業分類 生命保険
 ●勤務先 朝日生命保険相互会社福島支社郡山営業所

●中央分區 郡山安積 RC
橋本 善寿 はしもと よしひこ
 ●入会日 2023年4月4日
 ●職業分類 農業資材販売
 ●勤務先 (有)橋本商会

●東北第一分區 福島 RC
杉山 淳 すぎやま あつし
 ●入会日 2023年3月9日
 ●職業分類 中央競馬会
 ●勤務先 日本中央競馬会 福島競馬場

●東北第一分區 福島 RC
柳谷 葉一 やなぎだに よういち
 ●入会日 2023年4月27日
 ●職業分類 証券業
 ●勤務先 野村証券(株)福島支店

●いわき分區 いわき平 RC
川松 裕之 かまつ ひろゆき
 ●入会日 2023年4月6日
 ●職業分類 投資信託
 ●勤務先 水戸証券(株)いわき支店

●いわき分區 いわき平 RC
小林 隆太 こばやし りゅうた
 ●入会日 2023年4月13日
 ●職業分類 ホテル業
 ●勤務先 いわきワシントンホテル椿山荘

●いわき分區 いわき平 RC
鈴木 孝雄 すずき たかお
 ●入会日 2023年4月26日
 ●職業分類 テレビ放送
 ●勤務先 福島テレビ(株)いわき支社

●いわき分區 いわき小名浜 RC
木村 一幾 きむら かずき
 ●入会日 2023年4月4日
 ●職業分類 新聞
 ●勤務先 福島民友新聞社 小名浜支局

●いわき分區 いわき小名浜 RC
穴戸 敢一 ししど かんいち
 ●入会日 2023年4月25日
 ●職業分類 金融業
 ●勤務先 東邦銀行 小名浜支店

●いわき分區 いわき平東 RC
志賀 達生 しが みちお
 ●入会日 2023年4月12日
 ●職業分類 幼児教育
 ●勤務先 学校法人 志賀学園

●東北第二分區 福島北 RC
酒井 敬俊 さかい たかとし
 ●入会日 2023年4月25日
 ●職業分類 証券業
 ●勤務先 大和証券(株)福島支店

●東北第二分區 保原 RC
渡邊 久男 わたなべ ひさお
 ●入会日 2023年4月5日
 ●職業分類 新聞社
 ●勤務先 福島民友新聞社

●東北第二分區 梁川 RC
堀江 俊行 ほりえ としゆき
 ●入会日 2023年4月1日
 ●職業分類 農業
 ●勤務先 ほりえ果樹園

●東北第二分區 川俣 RC
渡辺 貴志 わたなべ たかし
 ●入会日 2023年4月1日
 ●職業分類 農業機械販売・整備
 ●勤務先 (株)渡辺機械

●県南分區 白河 RC
小田木教晋 おだぎ のりゆき
 ●入会日 2023年4月17日
 ●職業分類 為替銀行
 ●勤務先 (株)常陽銀行 白河支店

●県南分區 白河 RC
菊地 広幸 きくち ひろゆき
 ●入会日 2023年4月17日
 ●職業分類 商業銀行
 ●勤務先 (株)東邦銀行 白河支店

●県南分區 須賀川 RC
安島 剛彦 あじま たけお
 ●入会日 2023年4月3日
 ●職業分類 通信社
 ●勤務先 福島民報社須賀川支社

●相双分區 原町 RC
古川 彦松 ふるかわ ひこまつ
 ●入会日 2023年4月27日
 ●職業分類 電気業
 ●勤務先 東北電力原町火力発電所

●相双分區 原町 RC
菅野 智宏 すげの ともひろ
 ●入会日 2023年4月27日
 ●職業分類 電気事業
 ●勤務先 東北電力ネットワーク(株)相双電力センター

●県中分區 本宮 RC
斎藤 優樹 さいとう ゆうき
 ●入会日 2023年4月5日
 ●職業分類 マスコミ
 ●勤務先 福島民友新聞社

●県中分區 船引 RC
山崎 修平 やまざき しゅうへい
 ●入会日 2023年4月5日
 ●職業分類 生命保険業
 ●勤務先 大樹生命保険(株)船引営業所

●県中分區 船引 RC
坪井 徳文 つばい のりふみ
 ●入会日 2023年4月5日
 ●職業分類 団体職員
 ●勤務先 福島さくら農協 船引支店

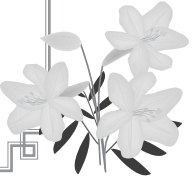
物故会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます

●喜多方 RC
宮澤 弘 みやざわ ひろし
 2023年4月12日 ご逝去
 享年 66歳
 ローターリー歴 15年

●喜多方中央 RC
風間 常義 かざま つねよし
 2023年4月1日 ご逝去
 享年 80歳
 ローターリー歴 30年

●白河 RC
小針 藤助 こばり とうすけ
 2023年4月16日 ご逝去
 享年 70歳
 ローターリー歴 45年

●郡山西北 RC
横山 雅一 よこやま まさいち
 2023年4月18日 ご逝去
 享年 90歳
 ローターリー歴 27年



4月会員数報告と MyROTARY 登録率・生年月日登録率

※5月19日現在

分 区	クラブ	7/1現在会員数 (内女性)	前月未会員数 (内女性)	1日付け入会者数 (内女性)	2日～月末入会者数 (内女性)	当月退会者数 (内女性)	当月未会員数 (内女性)	例会 回数	My ROTARY 登録率※	生年月日 登録率※
中央 分 区	郡 山	97 (0)	99 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	104 (0)	4	26.92 %	40.38 %
	郡山西	40 (0)	39 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	41 (0)	3	68.29 %	24.39 %
	郡山東	31 (2)	30 (2)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	31 (2)	2	84.38 %	65.62 %
	郡山南	90 (13)	88 (13)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	88 (13)	3	75.00 %	100.00 %
	郡山北	39 (0)	40 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (1)	4	56.41 %	20.51 %
	郡山西北	42 (2)	43 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	42 (2)	4	28.57 %	14.28 %
	郡山安積	56 (3)	52 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	53 (1)	4	22.64 %	26.41 %
	郡山アーバン	29 (14)	29 (14)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29 (14)	3	72.41 %	34.48 %
	郡山コスモス	17 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	2	100.00 %	64.70 %
福島グローバル	17 (2)	16 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	16 (2)	3	68.75 %	93.75 %	
中央分区分小計		458 (38)	453 (37)	0 (0)	10 (0)	2 (0)	461 (37)	32	60.34 %	48.45 %
県 北 第 一 分 区	福 島	95 (7)	100 (7)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	101 (7)	4	99.01 %	99.00 %
	二本松	39 (4)	40 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40 (4)	3	75.00 %	97.50 %
	福島南	65 (6)	66 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	66 (7)	5	75.76 %	100.00 %
	福島西	24 (1)	24 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (2)	3	79.17 %	100.00 %
	福島中央	47 (3)	46 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	46 (4)	3	93.48 %	100.00 %
	二本松あだたら	35 (5)	37 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	37 (5)	3	97.30 %	100.00 %
	福島21	41 (4)	42 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	42 (4)	4	88.10 %	100.00 %
県北第一分区分小計		346 (30)	355 (33)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	356 (33)	25	86.83 %	99.50 %
会 津 分 区	会津若松	51 (0)	45 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	44 (0)	4	50.00 %	97.72 %
	喜多方	43 (0)	48 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	47 (2)	5	85.11 %	100.00 %
	会津若松西	25 (1)	23 (2)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	23 (2)	4	68.00 %	96.00 %
	猪苗代	27 (4)	26 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	26 (4)	3	80.77 %	88.46 %
	会津坂下	33 (0)	34 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (0)	4	64.71 %	23.52 %
	田 島	34 (0)	35 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	34 (0)	4	65.71 %	77.14 %
	会津若松南	14 (1)	19 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	19 (1)	4	31.58 %	100.00 %
	会津若松城南	24 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	4	50.00 %	100.00 %
	喜多方中央	30 (1)	30 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	29 (1)	4	100.00 %	100.00 %
会津若松中央	19 (6)	21 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (6)	4	85.71 %	100.00 %	
会津分区分小計		300 (13)	305 (16)	0 (0)	2 (0)	6 (0)	301 (16)	40	68.16 %	88.28 %
い わ き 分 区	いわき平	49 (0)	49 (0)	0 (0)	3 (0)	1 (0)	51 (0)	4	29.41 %	100.00 %
	いわき小名浜	71 (0)	70 (0)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	69 (0)	4	19.12 %	98.52 %
	いわき勿来	36 (0)	35 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	36 (0)	3	36.11 %	97.22 %
	いわき内郷	25 (3)	21 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (3)	3	28.57 %	61.90 %
	いわき常磐	15 (0)	15 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	15 (0)	2	46.67 %	33.33 %
	いわき平東	38 (3)	46 (5)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	46 (5)	2	73.91 %	89.13 %
	いわき四倉	2 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0	50.00 %	100.00 %
	いわき平中央	28 (4)	26 (6)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	25 (6)	3	26.47 %	94.11 %
	いわき桜	10 (10)	10 (10)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	10 (10)	3	90.00 %	100.00 %
いわき分区分小計		274 (20)	274 (24)	0 (0)	7 (0)	6 (0)	275 (24)	24	44.47 %	86.02 %
県 北 第 二 分 区	飯 坂	39 (5)	38 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	38 (5)	4	100.00 %	100.00 %
	福島北	50 (1)	51 (1)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	51 (1)	4	100.00 %	100.00 %
	保 原	28 (3)	29 (3)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	29 (3)	4	55.17 %	100.00 %
	福島東	36 (3)	38 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	38 (3)	3	78.95 %	100.00 %
	梁 川	17 (3)	16 (2)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	4	70.59 %	100.00 %
	川 俣	35 (2)	36 (2)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	38 (2)	4	57.89 %	100.00 %
	福島しんたつ	15 (2)	17 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (2)	2	47.06 %	100.00 %
県北第二分区分小計		220 (19)	225 (18)	2 (0)	3 (0)	2 (0)	228 (18)	25	72.81 %	100.00 %
県 南 分 区	白 河	40 (2)	39 (2)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	38 (2)	4	31.58 %	21.05 %
	須賀川	43 (1)	43 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	44 (1)	4	15.91 %	93.18 %
	東白川	12 (0)	10 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	11 (0)	4	45.45 %	100.00 %
	石 川	34 (1)	34 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	34 (1)	4	32.35 %	100.00 %
	矢 吹	11 (1)	11 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (1)	3	27.27 %	45.45 %
	白河西	65 (6)	66 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	66 (6)	4	100.00 %	100.00 %
	須賀川ぼたん	12 (0)	12 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	12 (0)	4	50.00 %	91.67 %
	白河南	15 (0)	14 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	14 (0)	4	14.29 %	0.00 %
県南分区分小計		232 (11)	229 (11)	0 (0)	5 (0)	4 (0)	230 (11)	31	39.61 %	68.92 %
相 双 分 区	原 町	21 (0)	26 (1)	0 (0)	2 (0)	2 (0)	26 (1)	2	11.54 %	96.15 %
	相 馬	29 (4)	26 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	25 (3)	3	32.00 %	100.00 %
	浪 江	42 (2)	47 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	47 (3)	2	31.91 %	100.00 %
	富 岡	38 (5)	51 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	51 (7)	2	34.62 %	100.00 %
	原町中央	40 (6)	41 (6)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	41 (6)	3	19.51 %	100.00 %
	南相馬	22 (2)	21 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	21 (2)	3	85.71 %	100.00 %
相双分区分小計		192 (19)	212 (22)	0 (0)	2 (0)	3 (0)	211 (22)	15	35.88 %	99.36 %
県 中 分 区	本 宮	34 (8)	41 (9)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	41 (9)	5	27.91 %	100.00 %
	三 春	23 (2)	20 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	22 (2)	3	72.73 %	95.45 %
	常 葉	25 (0)	24 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (0)	2	50.00 %	100.00 %
	滝 根	2 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	1	66.67 %	100.00 %
	船 引	46 (3)	44 (3)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	46 (3)	3	65.22 %	100.00 %
	小 野	19 (1)	17 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	17 (1)	3	23.53 %	52.94 %
県中分区分小計		149 (14)	149 (15)	2 (0)	3 (0)	1 (0)	153 (15)	17	51.01 %	91.40 %
2530地区合計		2,171 (164)	2,202 (176)	4 (0)	33 (0)	24 (0)	2,215 (176)	209	57.39 %	85.24 %

※7/1現在会員数には、7/1入会者7名を含んでいます。



職業奉仕理念の構築

委員 内 藤 哲太郎
(二本松RC)

親睦を目的として発足した、ロータリークラブは会員同士の相互扶助による事業の発展を経て、自らの事業を健全に運営すると共に社会的に奉仕する団体に進化し、最終的に職業奉仕と社会奉仕の二つの奉仕理念を確立しました。

アーサー・フレデリック・シェルドンの職業奉仕理論「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」であり、シェルドンの説く職業奉仕とは、顧客に満足を与える具体的な企業経営方法のことなのです。持続して繁栄し発展しているいくつかの企業に共通して見られる特徴をサービスと名づけました。販売する商品や提供するサービスの品質が高いことが大切であり、価格が適正であることも大切です、顧客が感じる満足感と公平感、こういった全てのことがサービスであり、サービスの良い店には必ずリピーターとなって訪れたり、別の顧客を紹介してくれます。顧客の満足度の高い事業所は、高い職業倫理を持った事業所だと言うことができます。

更にシェルドンは人間関係学からも職業奉仕を説いています。事業場で得た利益はけして自

分一人で得た利益ではありません、従業員、取引先、下請け業者、顧客、同業者など自分の事業と関係を持つすべての人々のおかげで得たことに感謝し、その利益を適正にシェアする心を持って事業を営めば、最高の利益が得られることを自分の職場で実証し、その方法こそが正しいやり方であることを、地域の職業人に伝えていかなければならないと説いています。

まとめると、自ら儲けるために職業に就いているという考えを捨て、顧客の満足度を最優先しつつ、自らの職業を通じて他人に奉仕をするという考えで事業を営めば、その結果大きな利潤が得られるとともに、その事業所が継続的に発展していくので、職業奉仕の実践が結果として高い職業倫理につながるのです。

職業奉仕理念が確定したことを受けて、1913年のバッファロー大会で「道德律」を作るための準備に入り、1915年のサンフランシスコ大会において採択されて、公式な「道德律」となり、1916年頃からロータリアンが経営する事業所に適用する形でその実践が始まっています。

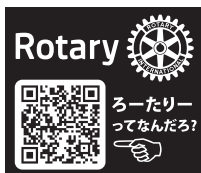
「Heprofitstmostwhoservesbest」

「参考文献」

決議23-34の徹底的解析 田中 毅

● 公共イメージIT委員会からのお願い ●

友人や知人の方にロータリーを紹介しましょう♪
スマホのカメラで QR コードを読み取ってください



一般向けサイト



Facebook ページ

今月の表紙紹介

写真提供：
(一社) 喜多方観光物産協会



雄国山の裾野が広がる丘陵に伸びる「恋人坂」は喜多方の景色はもちろん、正面から眺める夕日や澄み切った夜空に輝く星を見上げることが出来る絶景スポットです。